

# HP ワークステーションとリモートグラフィックソフトウェアの導入で働き方改革を実現



## 株式会社サイバーコネクトツー

### 目的

- ・円滑なゲーム開発環境の構築
- ・連続稼働時における可用性の向上
- ・リモート環境での作業効率向上

### アプローチ

- ・ワークステーションの定期導入
- ・効果的な必要スペックの配置
- ・リモートグラフィックソフトウェアの導入

### システムの効果

- ・継続的な製品導入によるノウハウの集積
- ・適切なパーツ選定による安定性向上
- ・リモート環境の改善

### ビジネスへの効果

- ・開発プロジェクトの円滑な進行
- ・ワークステーションの安定稼働
- ・働き方改革による人材確保と業務効率向上

数々の人気ゲームを市場に送り出してきたことで広く知られるゲーム制作企業、株式会社サイバーコネクトツー（以降、サイバーコネクトツー）。「面白いゲームを作ること」というシンプルかつ大きなテーマを掲げ、ますます精力的にビジネスを展開している。そんな同社のゲーム開発に役立っているのが HP のワークステーションだ。起業以降、長期にわたって導入実績があり、その豊富なノウハウによって時代にマッチした運用がなされている。同社にその内容を伺うことができたので紹介しよう。



## ビッグタイトルを輩出する ヒットメーカー

サイバーコネクトツーといえば、大ヒット作が多いゲーム制作ベンダーとして有名だ。最新作（※取材時）「NARUTOーナルトー 疾風伝 ナルティメットストーム4 ROAD TO BORUTO」は 2017 年 2 月に発売された作品で、同社が手掛けてきた同シリーズの最終作、いわば集大成としてリリースされたビッグタイトルだ。プレイできるキャラクターがシリーズ史上最多の 122 人、国際的な人気作品でもあるため 13 カ国語に対応しており、ゲーム開発としてのボリュームも相当なものとなった。

「ナルティメット」シリーズの開発は 2001 年から始まり、15 年以上取り組んできた作品です。原作の連載が終了し、今回のゲームがシリーズ最後となるだけに、持っているノウハウや技術を惜みなくつぎ込みました」と語るのは、業務部 制作推進課 技術支援室 チーフ 榎野正雄氏（以降、榎野氏）だ。開発は前作制作時から段階的に始まり、本格化し始めたのは約 1 年半前。前作からのコアメンバーが引き続き一丸となって開発を行った。

「NARUTOーナルトー 疾風伝 ナルティメットストーム4 ROAD TO BORUTO」は、リリース当初から大きな話題となり、期待に応える大作として国内外のファンから大反響を呼んでいる。そして、今作の制作現場を支えたのが HP のワークステーションだ。

## 適材適所で ワークステーションを配置

「今作品で開発現場でメインに活躍したのは HP Z230 Workstation シリーズです。グラフィックスカードの仕様を変えるなど、用途に応じて作業するスタッフへ配備しています」と語るのは、業務部 制作推進課 技術支援室 開発サポートの吉本大起氏（以降、吉本氏）だ。

サイバーコネクトツーでは、開発時におけるワークステーションを役割ごとに分けて考えている。「例えば作画を担当するアーティストのマシンのグラフィックスには NVIDIA Quadro シリーズ、プログラマーやデザイナーは、NVIDIA GeForce シリーズといった具合にスペックを変えています」と吉本氏。例えば NVIDIA GeForce シリーズを採用する理由として、コンシューマ向けのゲーム環境を再現するため広く一般的に使われているグラフィックスカードを選択するというように、ワークフロー効率化の意味合いが大きいのだという。

また、開発は長期に渡ることも多く、気温による影響も大きいのだという。「ゲーム業界全般にいえますが、ワークステーションに想定外の高負荷を長時間かけ続けることが頻発します。気温が高い時期には、マシンにとっては過酷な環境なので、可用性やサポート体制も気になるところです」と榎野氏はいう。「今作では大きなトラブルはなかったのですが、過去に HP のサポートは使ったことがあります。こうした機器類のサポートというと時間が掛かってしまうことも多いのですが、HP の場合は非常に迅速



サイバーコネクトツー 業務部 制作推進課  
技術支援室 チーフ 榎野正雄氏



サイバーコネクトツー 業務部 制作推進課  
技術支援室 開発サポート 吉本大起氏



### Entertainment

まるでアニメをそのまま動かしているような感覚になるクオリティの高さと大迫力の演出が本シリーズの最大の特長だ

NARUTO-ナルト- 疾風伝

ナルティメットストーム4 ROAD TO BORUTO

販売元：株式会社バンダイナムコエンターテインメント

© 岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・ぴえろ

© 劇場版 NARUTO 製作委員会 2014

© 劇場版 BORUTO 製作委員会 2015

©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.



開発スタッフには役割に応じたスペックのワークステーションが配置される



に対応してもらえたのが印象的でした」と吉本氏。ワークステーションとしての信頼性に加え、サポート力の高さも HP を選ぶ理由の一つだと両氏は語ってくれた。

## リモート環境を大幅に改善 RGS で働き方改革

サイバーコネクトツーが最近注目しているのが、HP ワークステーションを導入することで利用できる無償ツール「HP Remote Graphics Software (以降、RGS)」だ。RGS は HP の独自圧縮技術「HP3 テクノロジ」を採用することで、転送データを 170 : 1 という高圧縮でエンコード。バンド幅の狭いネットワークでも大容量データが扱えるようになるツールだ。

同社では、働きながら育児をする女性スタッフもいるが、例えば開発期間中に子供の体調が悪くて出社できないといったケースも当然出てくる。「そんな時でも、空いている時間に自宅から作業を進めたり状況チェックをしたりしたい」といった要望があるのです。様々な候補の中、RGS を導入してみたところ、3D CG ソフトウェアに自宅環境から軽快にアクセスでき、3D データが快適に動くなど、これまでと比較して良好な結果を得ることができました」と吉本氏は手ごたえを語る。

また RGS は表示される画面の色情報を暗号化して転送するため実際のデータがネットワーク上を流れることもなく、自宅の PC からデータをコピーすることはできないため、機密性の高い開発途中のデータのセキュリティもしっかり担保されている。

さらに RGS の特長として、リモート環境におけるスペック的な負荷はセンターとなるワークステーションが受け持つことになる。

そのため、スペックが低いノート PC などから遠隔地のワークステーションを動かすようなケースで大きな威力を発揮する。「弊社では福岡の本社と東京スタジオの両拠点で開発を進めます。例えば本社のスタッフが東京スタジオへ行く場合、そちらにもワークステーションを用意する必要がありました。しかし、RGS を使えば移動先にレシーバーとなるコンピュータを用意するだけで済むので管理は楽になりますね」と吉本氏は語る。こうした同社の取り組みや導入方法は、RGS を効果的に使ってワークフロー全体の効率化を実現した好例といえるだろう。

## ゲーム業界をけん引する 人材の育成

「NARUTO-ナルト- 疾風伝 ナルティメットストーム4 ROAD TO BORUTO」のリリースを終え、次作の開発に取り掛かっているサイバーコネクトツー。近年では、自社のみならず業界全体の未来を見据えた取り組みにも余念がない。「ゲーム業界は全体的に人材不足が問題になっています。専門学校もありますが、それだけでは身につかないスキルやノウハウがあるのも現実です。そこで弊社ではゲーム業界人材育成プロジェクト『スーパーゲームスクール』を運営して、人材育成に役立てようと活動しています」と榎野氏は語る。これは学生、大学生、社会人、あるいはフリーランス、誰もが応募が可能で、一般的な学校とは異なり、受講者それぞれのスキルに合わせた“作品課題”に取り組むことで、プロに求められるスキルを習得することを目的としているのが特長だ。

「このスクールを受けるにあたって用意すべきは『やる気』だけです」という榎野氏。「実際に、スーパーゲームスクールを受講してゲーム業界に入った人もいます。弊社にも卒業生がいて、即戦力として開発スタッフに加わってもらいました」と吉本氏も言葉をつなぐ。

しっかりと実を結ぶことが証明されたスーパーゲームスクール。現在は、複数企業の協力のもと福岡本社内を会場にして実施しているが、今後は他の場所や福岡県以外へとその範囲を広げていくことも視野にいれているのだという。「一定ラインを超えるスキルを持った人に来てもらいたいのはどの企業も同じです。そのためにもっと多くの関連企業やベンダーにも協力いただいて、全国展開できるぐらいにまでこの企画が育つと良いですね」と笑顔で語ってくれた榎野氏。「例えば、先ほど触れた RGS を使って講師がプロの環境ではこうやって作業を進める、といったデモを交えた実践的なカリキュラムも実現できると思います。プロに必要な知識とスキルを知ってもらい、自ら勉強する。そういう場を提供することができればと思っています」と吉本氏も展望を語った。

ゲーム業界全体をけん引し続けるサイバーコネクトツー。さらなるビッグタイトルの開発はもちろん、人材の育成から人材活用、働き方改革にも積極的だ。この同社の取り組みを HP ワークステーションとリモートグラフィックソフトウェアが今後も支えていく。



記事を共有する

